



次世代への転換

令和8年3月6日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

新たな技術への転換は産業の新たな未来である。

これらはより優れた生産性、利便性を社会と生活へ供与できるものである。それが今日第2の産業革命と伝えられる現実なのである。

これら新たな可能性はデジタル経済などとともに、企業が未来における新たな世界への参加を新しい現実とともに自己に実現できるのである。

これらは旧時代が手工業において存在する中、自動化などへの転換ははるかに高い生産性や品質管理を実現できるものであり、それらの持続性は利益の拡大における企業経営の持続的な構築を実現できるものである。

これらは未来という新たな現実とルールに対して企業がその自己の選択を得るものであり、これら時代という振り分けは、未来への参加の条件なのである。

これら可能性の飛躍は、今日におけるビジネスの興隆であり、それら変化はより優れた現実への転換なのである。

これらが向上であるため、企業はその吸収とともに、新たな未来が要求する新たなルールにおける現実への参加を求められるのである。

これらは次世代という変化であり、新たな未来という現実なのである。

これらは2分化する世界の現実であり、未来へ落伍することと、未来への参加を得ることは新たな現実のルールという基準における振り分けなのである。

これらはウサギと亀という寓話が参考になるかもしれない。未来へ到達することは、これら現実に寄るかもしれないからである。